

支える手のやさしさを感じて



困っている仲間のもとに自然と寄り添う姿がありました。何も言わずにそっと背中に手を置いて「だいじょうぶ、いっしょにいるよ」…そんな優しさが伝わってくる様です。

「相手のことを知りたい」「きもちに寄り添いたい」という心持ちがあらわれています。

多様な人間関係の中で探求しながら、励まし合って何かを創造し思いを分かち合い、協同することの喜びを感じることができる様になりたい。改めて未来の社会を生きていくこどもたちだからこそ、これからも丁寧に育まねば…と感じた瞬間でした。

4月21日(月)

つきぐみの生活 ～すきなひと すきなこと すきなものの編～



てんとうむし みつけた！

3歳児クラス、つきぐみでの生活にも、少しずつ少しずつ慣れてきた気配。心地よい春の風を感じながらすきなひとと一緒にすきなこと、すきなものをみつけて過ごす姿が保育園のあちこちで見られます。

『わくわくのたね』いっぱい



園庭に出ると、こどもはもちろんのことおとなも心の窓が開いて風が入っていく感覚があります。ちいさなアリの巣を見つけて「おしごとしているんだね」「いそがしいね」

額を寄せ合って同じ景色を分かち合えるってとても素敵でかけがえのない瞬間。

みてて、みてて！！



毎日の生活の積み重ねでできるようになったこと→自分でできることは自分で！の意欲にあふれています♡

少し難しいと思ったけれどやってみたら(何回か挑戦したら)できた！うれしい気持ちはだれかと分かち合いたい。それが「見ててね」の一言に込められているのですね。

